

採卵始まる あきあじ



今年もあきあじが故郷の川に帰ってきました。放流された時には4～5センチしかなかった鮭は200倍以上の大きさになっています。

ここ、さけ・ますふ化場幕別事業場(千住)では先月21日から採卵が始まりました。ここでは約3,000万個の卵を人工ふ化させて翌年3月に放流します。そして、3～5年後に再びこの川にもどってきます。相手は生きもの、補獲してから20分以内に採卵しなければならないので作業は早く慎重です。

食卓の主役、貴重なたん白源としての魚は、とる漁業、からつくる漁業、へと変わり、水産資源の保護は大切です。

まくべつ

広報

10

1976

— No. 297 —

発行 幕別町
編集 町民課広報広聴係
印刷 大同出版紙業株式会社

開基
80年

記念まつりにぎわう

私たちの町「まくべつ」が出来て今年で80年になりました。町内ではこれを祝って10月1日から3日までの3日間、いろいろな催しが行なわれました。これらの催しをカメラで追ってみました。



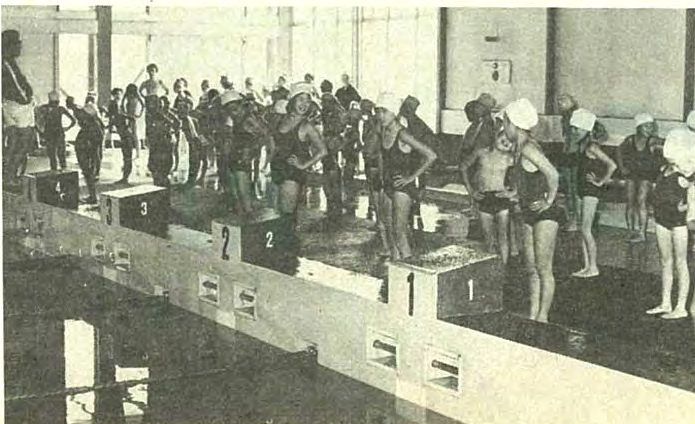
天気にも恵まれ好記録が出た記念駅伝競走



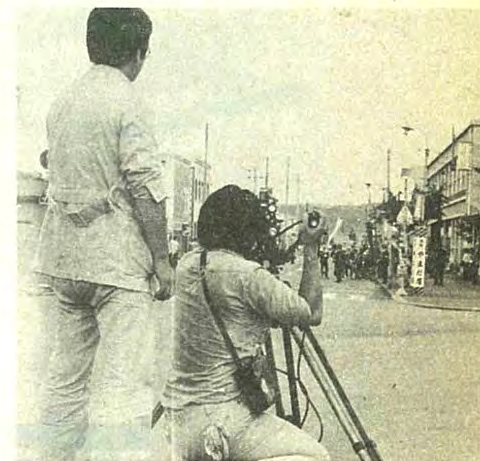
10月2日の記念文化行事に出演した糠内獅子舞いと記念講演の元NHK会長の前田義徳さん



小学校女子の部で幕別小の選手が大活躍をした開基80年記念全十勝剣道大会の風景です



ことし最後の全町水泳大会に多くの豆選手が参加し続々と記録を書きかえました



開基80年を記念して記録映画の製作を決定、すでに90%近くの撮影が終り、撮影の終わったものの一部分を開基80年記念式典で上映し好評を博しました。上の写真は撮影中の風景です。



中条きよし、日吉ミミ、千賀かおるがボウリング場跡の特設舞台上でヒット曲の数々を披露しました

← 数々の催し物でにぎわった温泉前の広場



↑ 新鮮な秋味の即売会も人気を呼びました

↑ 記念まつりで人気を呼んだのは鯉のつかみどり。逃げる鯉を追いかけてまわし全員水びたし。なかには張切りすぎて水槽の中で転倒した方もいました。



← 白人小学校鼓笛隊が自衛隊音楽隊におとらぬ素晴らしい演奏で記念まつりに華をそえました



← 幕別、札内農協の野菜、牛肉の即売会も多くの方々の人気を集めました。お昼ときにはバーベキュー会場で家族づれで肉を焼く、なごやかな風景がみられました



開拓の労苦をしのぶ

さらに限らない発展を続ける町に

幕別の地に開拓の歎がおろされてから八十年の歳月が過ぎました。今では美しい町並のこの土地も、その昔は原始林におおわれていたそうです。先人の開拓魂には尊敬の念を深めずにはいられません。

幕別町開基八十年記念式典が十一月一日午前十時から町民会館で開催されました。

まず、記念式典の開会にさきだち、現在、撮影をすすめています記録映画の一部を披露し、たいへん好評を博しました。引きつづき高橋助役の開式の言葉

君が代斉唱をおこなったあと、多くの先人の偉業をしのび黙とうを捧げました。

また、町内青年を代表して堀田伸宏さんと箕浦洋子さんが、力強く町民憲章を朗唱、かわって登壇した大石町長は「豊かな自然にかこまれた、この町が次の開基九十年、百年を目指し町民相たずさえて飛躍発展の歴史を刻



式典には町内外から400人の方が出席

みあげ、次代になう若い人たちにとって、かけがえのない良きふるさととなるよう最大の努力をいたしたい」と式辞を述べました。大石町長の式辞につづいて町の発展に多くの功績のある四十名の方々に表彰状を、九十歳以上のお

年寄り十三名に長寿のお祝いを贈ったほか、開基記念事業に多額の

表彰された方のお名前

開基八十年記念式典で表彰状感謝状および長寿をお祝いされた方々は次の通りです。

■自治功労

中島国男、婦山茂、加藤義雄
辺見徳明、谷地田豊四郎、森田宣雄、斉藤毅雄、前川初弥、富谷政男、長尾玉市、沢田政太郎、小田善一、服部間一、松田喜太郎、上田菊一、吉村康一、高橋勇、故・松田文一、故・藤内春雄、故・箕浦正市、榎本梅谷、五十嵐吉三郎、森田金太郎、三浦竹松。

■民生功労



おとしよりへ感謝の気持ちを...

寄付をされた六団体の代表者に感謝状を贈りました。

記念式典には町内外から約四百名の方々がお祝いに来ていただきましたが、これら来賓を代表して神田豊頃町長（十勝町村会代表）

湊良三郎、工藤智明、乙武善正、木田岩松、千賀多金治。

■産業功労

横山辰雄、松浦栄一、山中甚三、玉置清。

■教育功労

矢野幸作。

■婦人活動功労

目黒節子。

■納税功労

岡田改、加藤要。

■統計功労

関谷光男。

■防災功労

小山武市。

■交通安全功労

杉本清一郎。

■長寿者

帰山 セキ（九十八歳）千住

大滝足寄町議会議長（十勝町村議長会代表）、美濃衆議院議員から祝辞をいただきました。なお、式典は幕別小学校の良子女子たちの町歌斉唱で幕を閉じました。



幕別小児童による町歌の斉唱

佐々木トヨ（九十七歳）宝町
早乙女キヨ（九十四歳）相川
松岡条太郎（九十四歳）糠内
森下 マツ（九十二歳）猿別
沢田藤次郎（九十二歳）途別
飛田 種蔵（九十一歳）糠内
横田 ヨ子（九十一歳）相川
山田 常盤（九十一歳）本町
杉本 コト（九十一歳）途別
古川 きよ（九十歳）相川
山田 チカ（九十歳）糠内
本田 むつ（九十歳）豊岡

■多額寄付者
東興ブロック工業株式会社
幕別町建設業協会
日置砂利工業株式会社
十勝信用組合
日成ブロック工業株式会社
札内地区愛の鐘設置期成会

盛大にパレード

大正時代のポンプも登場●



止若火災予防組合発足当時の写真(六十五年前)
 ▲大正時代のポンプで放水

のびのびとなっていました。幕別消防団の創設七十周年記念式が九月二日に開催されました。

この日、町民会館前に各分団の精鋭八十七名、署員十五名、幕別が誇る化学消防車など九輛のポンプ車が集合、人員報告など所定の訓練を実施したのち自衛隊音楽隊を先頭に祝賀パレードおよび分列行進をおこない、創設七十周年を迎えた幕別消防団の健在ぶりを町民の皆さんに披露しました。

このパレードには大正時代に私設の棟内火防組合員が着用したハテン、モモヒキ姿の署員が、これまた大正時代の最新鋭ポンプであった腕用ポンプを引いて参加しお年寄りの皆さんに昔を思い出させました。

なお、町民会館では懐古写真展や消防組時代に使用した器具の数



▲総勢100余名の市中パレード



▲大正時代のポンプで放水



▼チビッコ署長も観閲



▲化学消防車も参加

火を使う季節、火災に注意。

町内では今年一月から十二件の火災が発生しており、損害額も千八百八十八万円になっています。原因は主に火の後始末が完全でなかったり、火の取扱いが悪かったりというようにちよつとした不注意からです。

幕別消防団の前身は明治三十七年四月、当時、幕別一のにぎわいをみせていました猿別市街に設けられた私設の幕別防火組合で、明治三十八年には止若市街に移転し明治四十四年には止若火災予防組合と名称を変更しています。

このように私設の防火組合から数えて、ことは七十二年目になりますが、いろいろな都合から記念式典ののびのびとなり、今回開催したもので、消防団では九月一日に前夜祭を町民会館で開催しました。

毎年とくにこの時期になると火を使う機会が多くなるため、火災の発生件数が多いへん多くなりま

す。火災は一瞬のうちに財産を失い、時には人の命をも奪ってしまいます。

このようなおそろしい惨事がお



こらないよう十月十五日から十月三十一日まで「火災は人災、防ぐはあなた」を統一標語に全道一斉に秋の火災予防運動が展開されます。各家庭でも、わが家からは火災を出さないを合言葉に火災発生の原因となる箇所は早く改善するようつとめてください。

(幕別消防署)



昭和50年度

一般会計・特別会計決算

一般会計

(1) 歳入
昭和五十年年度の歳入決算は三十一億五千八百一十千円で予算額に対し一〇〇・二%となつています。これを昭和四十九年度の決算額二十七億五千六百六十九千円

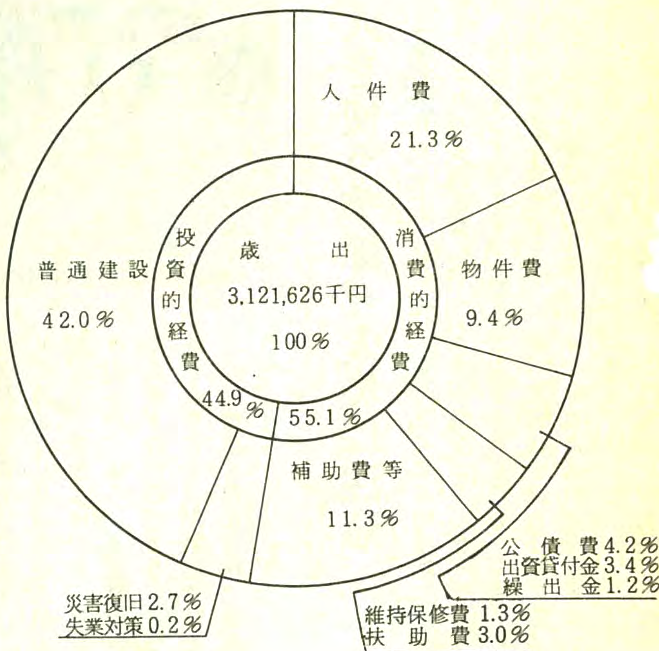
(2) 歳出
町税の歳入決算は三億二千五百四十六千円であり歳入総額に占める構成比は一〇・二%となり、昭和四十九年度に比べると一億六千八百一十千円の増加となり、その伸長率は五・五%となります。

と比較すると三億九千八百四十七万二千円の増加となり、その伸長率は一四・九%となります。
町税の歳入決算は三億二千五百四十六千円に對し九九・二%となり二千六百九十九万円の執行残となりました。

昭和五十年年度の歳出決算額は三十一億二千六百六十二万六千円以前年度と比較すると四億二千三百〇九千円の増加となり、歳出執行率は予算額三十一億四千七百八十一万六千円に對し九九・二%となり二千六百九十九万円の執行残となりました。

途別零号線ほか六件、単独災害は町道美川五号線ほか五件、前年度と比較すると〇・五%の増となつています。失業対策事業の決算額は六百四十四万円で前年度より百四十五千円、二〇・九%の増です。

歳出の性質別内訳



決算のあらまし

最近の地方財政は、経済の高度成長を背景とする一般財源の増加に支えられて順調に推移してきましたが、昭和四十九年一月から三月期に始まった不況は予想以上に長期化、深刻化し五十年年度に入っても景気回復の足どりは依然として遅く、物価の動向に留意しながらも景気浮揚に重点が置かれま

つまり、財政面では第一次、第四次の不況対策が決定され金融政策としては公定歩合、預金準備率の引き下げが行なわれましたが、財政金融両面にわたる景気浮揚策が講じられたものの従来のような高度成長は再び期待できず、国の財政運営も引き続き最重点を物価の安定におき総需要の抑制に努めてきたわけです。

地方財政もこのような国の経済対策と同じように総需要の抑制に努め、財源の重点的配分と経費支出の効率化により地域住民の生活の安定と福祉の充実を図る施策を進めてきました。

こうした諸情勢の中で本町の財政は歳入面において、町税は町民税、法人税が減収しましたが固定資産税、保有税の増収、地方債では町民税の減収補てん債の増、譲与税等の増収、歳出においても經常経費の節減に努めるとともに健全財政の確保にとつめた結果、一般会計および特別会計を合わせた

収入	2.0%	0.3%	0.3%
財産	1.2%	1.9%	
入金			
入金			
入金			

商工費	2.2%	68,158千円
労働費	0.6%	19,240千円
衛生費	5.2%	160,850千円
公債費	4.2%	130,284千円
善復旧費	2.6%	83,545千円
消防費	3.5%	110,806千円
議会費	1.4%	44,149千円

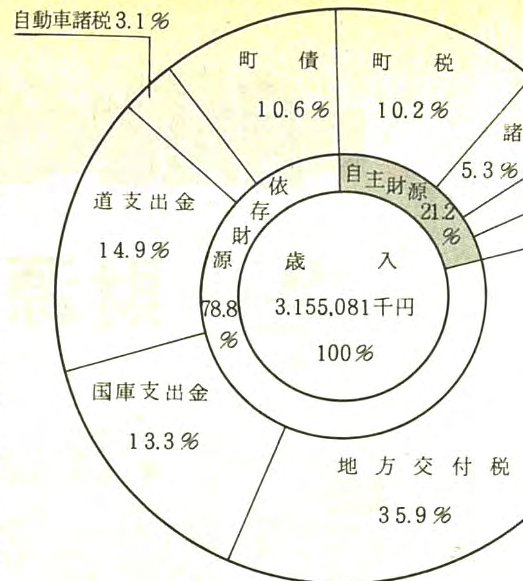
昭和五十年年度の歳出決算額は三十一億二千六百六十二万六千円以前年度と比較すると四億二千三百〇九千円の増加となり、歳出執行率は予算額三十一億四千七百八十一万六千円に對し九九・二%となり二千六百九十九万円の執行残となりました。

50年度特別会計決算額 (単位千円)

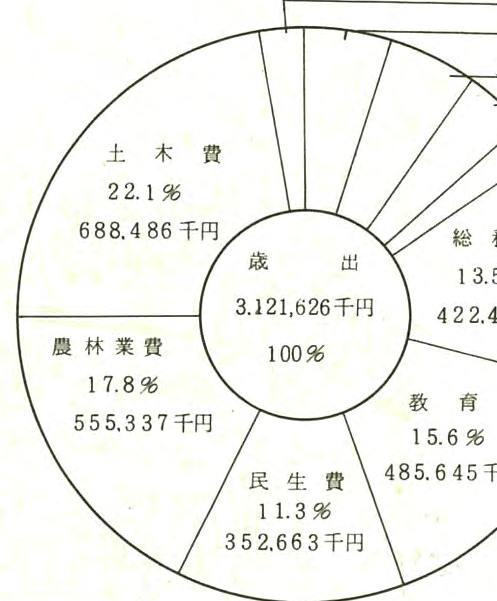
子現	算額	取済	入額	支済	出額	不用額	引	差	支	支
							金	率	率	率
312,845	323,907	311,173	10,672	12,734	96.7	76.1				
11,272	10,966	10,602	670	369	94.1	2.6				
19,644	19,657	19,545	99	112	99.5	4.8				
68,131	67,766	67,766	365	0	99.5	16.5				
420,892	422,296	409,086	11,806	13,215	97.2	100				

特別会計

財源の構成状況



歳出の目的別内訳



解説

借金と起債の違い

町で何かの事業をする時の財源は、①一般財源(町税、使用料など) ②国や道からの補助金(地方交付税、国・道からの支出金) ③起債の三つのお金でまかなうのがほとんどです。

ここでいう「起債」はふつう私たちが考える「借金」とは違います。個人や会社で借金をした場合借りたお金と利息分は全額必ず返済しなければなりません。ところが、地方公共団体つまり町が借りる起債は、その事業の種類によって違いはありますが、①返済の期間が長い ②返済するときに元金と利息分に対しての特別な措置がある一のです。

詳しくいいますと、①たとえば消防施設は一年据置いて五年で返済、土木災害の復旧事業のときは二年据置の十年返済。学校や公住

建設は三年据置いて二十五年で返済というように、その仕事の種類によって長期で返済の措置がされています。②そして、この期間に合せて返済するときの元金と利息分に対して、災害復旧事業はその九五%、学校建設事業には六〇%、辺地債(辺地に指定された地域で行なう事業に借りたお金)の場合は八〇%というように、事業の種類によってそれぞれのお金に見合う分が国から町に入る交付税の中に加算されて町の台所に入ってきます。

たとえば、災害復旧の仕事のために一千万円を借りた場合を考えしてみましよう。

私たちの家庭の借金だとこの元金一千万円全額と利息分を返さなければなりません。しかし、町の場合は元金のうち九百五十万円は

交付税に別収入となってきましたから、差し引き五十万円だけ返済すればよいこととなります。利息分もその割合で払えばよいわけですから、その返済金も二年据置で三年目から十年間に返せばよいのです

昭和 各会計の予算合計額は四億二千八百九万二千円ですが、これに対し歳入決算額は四億二千二百二十九万六千円(収入率一〇〇・三%) 歳出決算額は四億九千八百七十七千円(支出率九七・二%)で歳入歳出差引額は千三百二十万九千円となっています。

昭和 前年度と比較すると歳入決算額で七千三百六十万一千円、歳出決算額で七千三十五万二千円、それぞれ増加しています。

地方債の現在高

(単位千円)

区分	49年度末高		50年度末高		差引額	引高	借入先	内訳
	現在	発	元	金利				
一般公債	34,080	9,100	914	2,392	3,306	42,266	42,266	
一般単独債	325,166	62,000	27,683	22,514	50,197	395,483	212,522	146,951
公営住宅債	174,329	28,100	5,252	11,601	16,853	197,177	197,177	
義務教育債	182,197	60,300	5,286	12,244	17,530	237,211	215,831	21,380
辺地対策債	65,110	71,100	2,692	4,594	7,286	133,518	133,518	
災害復旧債	20,591	20,000	1,563	1,253	2,816	39,028	39,028	
清掃事業債	1,906		846	106	952	1,060	1,060	
厚生福祉債	128,325	10,700	1,753	9,093	10,846	137,272	137,272	
公取地債	71,540		61,540	4,559	66,099	10,000		10,000
市町村人権債	467	32,400	388	20	408	32,479	32,479	
道貸付金	54,559	1,600	8,386	2,447	10,833	47,773		47,773
公整備事業債	78,000	15,600	60	2,500	2,560	93,540		93,540
下水事業債		9,300				9,300		9,300
飲水供給債		15,400				15,400		15,400
計	1,136,270	335,600	116,363	73,323	189,686	1,355,507	1,035,863	319,644

一般会計収支の状況

(単位千円)

区分	昭和50年度	昭和49年度
予決	3,147,816	2,729,014
算		
・収入総額(収入率)	3,155,081 (100.2)	2,756,609 (101.0)
・支出総額(収出率)	3,121,626 (99.2)	2,701,317 (99.0)
歳入歳出差引額	33,455	55,292
翌年度へ繰越すべき財源		3,200
家賃収入	33,455	52,092
単年度収支	△ 18,637	△ 13,938

一般会計の決算状況について見ると右の表のように予算額に対する決算額は収入率が一〇〇・二%であり、支出率は九九・二%となります。前年度より収入率で〇・八%支出率で〇・二%の増となっています。

次に収支の状況ですが、歳入総額三十一億五千五百八十一千円に対し歳出総額三十一億二千六百六十二万六千円であり、その歳入歳出差引額三千三百四十五万五千円が当年度の実質収支額となります。

また、このうちから学校建設などの財政調整基金として二千五百万円を積立にしています。したがって実質繰越額は八百四十五万五千円となります。

自然とくらしを守る下水道



財源と受益者負担金



受益者負担は 建設費の三割

下水道事業は、衛生的で快適な生活に欠くことのできないものですが、ばく大な費用がかかるため全国的に立ちおくれがめだつていまず。しかし、最近では国や市町村も公害や環境整備に積極的になり、苦しい財源をやりくりして下水道事業にとり組んでいます。

下水道は雨水と汚水の処理に分

かれますが、降雨は住民の意志とは無関係です。この処理費用は公費で負担し、汚水は排水する個人・会社などが負担するのが原則となっています。下水道が布設されている区域内の人はそれだけ便益が良く、その土地の価値も高まります。

したがって、汚水の処理に要する建設費はその土地の所有者が面積に応じて負担（総体の三〇％）し、雨水分は国と町で負担（総体の七〇％）することになります。

具体例をあげますと、あかしや南団地の終末処理事業の場合、建設費のうちで個人負担金（受益者負担）は、土地の分譲価格に含まれ徴収されています。

一平方メートル当り 二百円前後

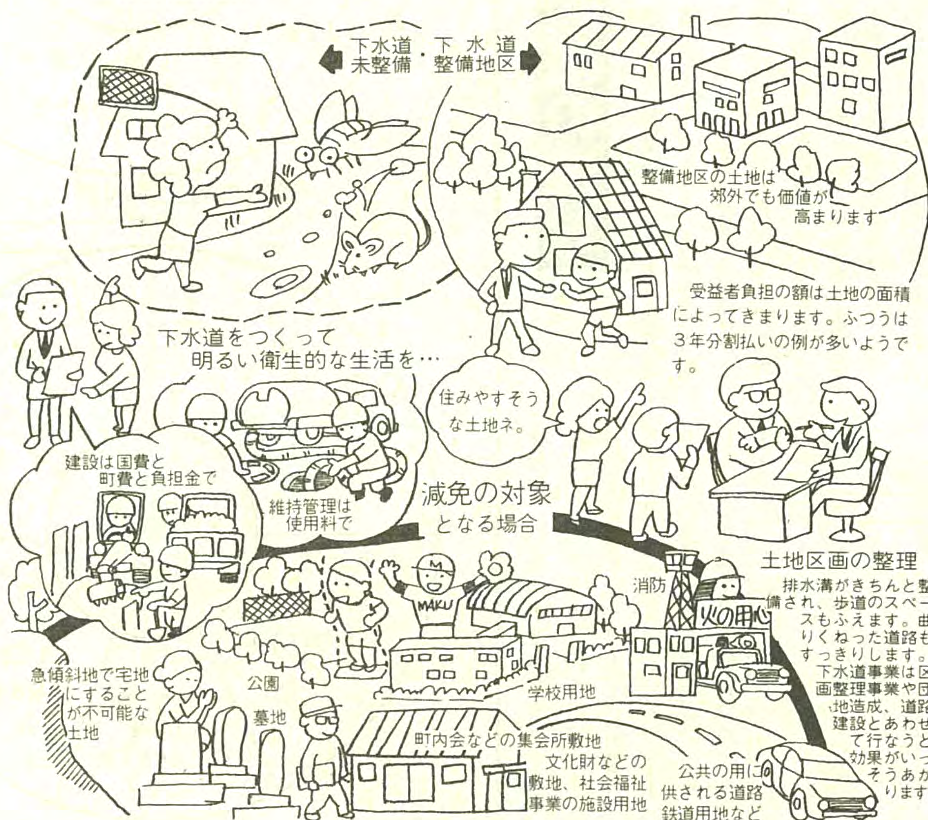
下水道が整備されることよつて利益を受ける方々に建設費の一部を一度に限り負担していただく制度を「受益者負担金制度」といいます。

受益者負担金を土地の所有者から徴収しようとするときは町議会の議決が必要で、受益者負担金制度が議会で認められると総事業費の一〇～一五％が受益者の負担になります。

この受益者負担金制度を採用することで町は計画どおり事業を実施することをみなさんに約束することになり、国でも積極的に後押しをして補助金を大幅に認めるため資金の確保が容易となつて町は下水道のためにより一層多くの資金をまわすことができ下水道の整備が促進されます。

受益者負担金額は、年々建設費が高くなつていきますので、現在各市町村とも一平方メートル当り二百円前後のところが多くなつてきました。

（次号は受益者負担金制度をさらにくわしくお知らせします）



赤い羽根共同募金 運動にご協力を



10月1日～12月31日が運動期間です。

「赤い羽根」をシンボルとした共同募金運動は、今年で三十回目を迎え、「あなたもボランティア」をスローガンに今年も十月一日から全国一斉に行なわれています。

昨年町内のみなさんから寄せられた温かい寄付金は恵まれない方がたに対する援助をはじめ、地域社会の福祉向上のため大きな役割を果たしています。

今年も百五十万円を目標に十月一日から募金運動が行なわれていますが、募金はあくまで町民のみなさんへ善意による拠金をお願いするものであり、多くの奉仕者の方がたの協力と実施されています。

明るく住みよい地域社会を築くために、この運動の趣旨を理解いただき積極的な支援と協力をお願いします。

労働問題会 安心して働ける 職場と環境を

九月二十八日、町民会館で地方労働問題懇話会が開かれました。

この懇話会は、労働者、使用者

並びに労働関係者を交えて当面する労働問題全般について懇話の場をつくり労使話し合いの慣行を促進させようというものです。そして関係者相互の理解を深め、ひいては労働条件の改善と地域産業の振興を図ることを目的としています。この日は労働者側七名、使用者側五名、主催者七名（幕別町、十勝支庁）の二十二名で約二時間

半にわたって各社の福利厚生、労働力の確保について話し合われました。

福利厚生としては各社とも、旅行・スポーツ大会などのレクリエーション行事が中心で、中には持ち家制度・退職金制度なども制定実施されているようです。

このほか参加された方々からは次のようなことが希望・意見として述べられました。

○従業員が少ない職場では福利厚生
の施策も単独では困難、共同で

進める考えをもつべきでないか。

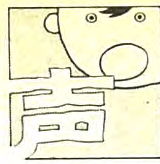
○各職場とも若い母親の労働力に
期待が大きい。しかし育児・子ども
の教育などの問題もあって、休
みや、退職が多い、これらの人達
が安心して働ける環境整備が必要
だ。

○組織化されていない労働者に対
しては、

道消費者協会、十勝支庁で灯油
の共同購入を進めています。共同
購入とは、地域または職場で何軒
かまとまって、灯油を入れてもら
う日を一定にすること、集金を一

ではもうストープに火を入れなければならぬ季節となりました。

今、便利さもあってほとんどの家庭で灯油が使われていると思いますが、需要期を迎え、灯油価格に



保 格 君 子
(緑 町)
幕別町消費者協会
者協会 会長



労働問題を話しあう出席者

する行政的な施策を積極的に進めてほしい。

このほかたくさんの方の要望などが出されました。町ではこれからも、このような話し合いの機会を多くもち、商工会など関係者と相談しながら、働く人達が安心して働ける職場づくり、環境づくりを推進することにしています。

事業主にも退職金

小規模企業共済制度

従業員は退職金は今や常識ですが、事業主でも退職する時があります。たとえば、第一線を引退し老後を楽しみたい、自分に万一のことがあったとき、経営の都合による工場や商店の閉鎖など：い

ろいろな場合があります。このような事態が起こったときに備えて事業主の生活安定をはかる退職金制度、それが小規模企業共済制度です。

▼加入資格 常時使用する従業員が二十人（商業とサービス業では五人）以下の事業主および会社や企業組合の役員の方です。ひとり

で、あるいは家族だけで事業を営んでいる方、自由業の方も加入できます。▼掛金 毎月一口五百円から最高二十口一万円まで、加入後の増・減額もできます。▼共済金の例 二十口一万円を三十年かけた場合、掛金の合計額は三百六十万円、掛金の合計額は三百六十万円が支払われます。

野菜を生産する農家の人も、物を売る商店もある面では同じ消費者です。健康でありたいと願う心も同じです。私たちの活動はただ単に物を安く買えばよいというものではありません。

意識を高めよう

町民だれもが消費者

括して支払うことによってこれらの経費の分だけ安くなるということとです。私たち消費者協会もこの問題をどう進めていくか検討中です。

消費者だけが安く買えるから

すべてにおいて消費する者、生産する者が歩みよることによって生活を豊かにすることができるとのどと信じています。消費者というサラリーマンの家庭だけが消費者のように考えられがちですが

ません。広く見聞を広げ、みんなが知恵を出しあい暮らしやすい社会、そして安心して生活できる社会をつくり上げるのが私たちの活動です。

物価はドンドン上がっていく社

会情勢の中で働くことも大切なことですが、今一度生活をふり返ってみてムダな買物をしていないだろうか？ 安易に物を買っていないだろうか？ 考えてみなければならぬのではないのでしょうか。

物が豊富に生まれつつある今、生活の中に手づくりのよき、創意と工夫をこらした個性的な生活設計が一番価値があるような気がしています。かしこい消費者になるため行動する消費者であるよう、今、私たちは多くの仲間を求めて一歩あるきつづけています。

あなたもどうぞ仲間に入りませんか。未来の子どものために

モントリオール金メダリスト

上村春樹 (柔道) が来町



柔道教室で指導する上村五段(青少年会館で)

モントリオールオリンピックの柔道無差別級で日本選手として初の金メダルを手にした上村春樹五段(二十五歳)が去る八月二十六

日から四日間、幕別を訪れました。全幕別柔道連盟と上村五段とのつきあいは四十八年から。当時明大四年だった上村五段(全日本学

生柔道選手権大会優勝)に全幕別柔道連盟副理事長の金野忠さん(旭町)が手紙を出したのが始まりで、前回は四十八年八月に東北・北海道對抗柔道に招待選手として来道していた上村五段は開催地の夕張市から足を伸ばして来町し、柔道連盟主催の柔道教室を指導しています。

今回も上村五段は二十七日に青少年会館で行なわれた「柔道教室」に顔を見せ、集まった少年たちを指導しました。また、会場には百人をこえる町内外の柔道ファンが金メダリストをひと目見ようとつめかけました。

内訪 町探 石斧

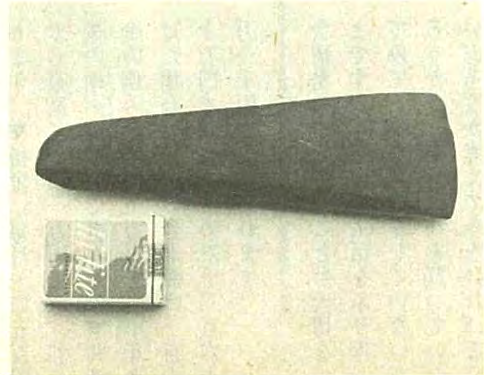
開拓記念館の専門家に 鑑定をお願いしました

寿町の中川喜市さんから珍しい石斧(せきふ)が役場にとどけられました。

今まで町内で発見された石斧は十センチ前後のものですが、中川さんが発見したものは写真でご覧のように長さが二十八センチもある大きいものです。

たまたま来町していた北海道開拓記念館の関課長にお見せしたところ、石斧のミネのところにある擦切(すりきり)のあとからみて縄紋時代(今から二千年から八千年前)の磨製石斧であり、このような大きな石斧は、たいへん珍しいと鑑定して

いただきました。この石斧は猿別川と十勝川の合流地点で砂利採取中に発見されたため、どのような状態のところにあつたものかなどが不明のため、使われた年代を推定することが出来ません。このため、関課長をお願いし北海道開拓記念館の専門家に再度鑑定していただくことになっています。



生活のなかに軽い運動を

通勤の途中で

通勤時間が長くなるにつれてラッシュだけで体力づくりになるという「あまのじゃく」もいるかも知れませんが、その時間を有効に使うかどうかであなたの健康はかなり改善できます。歩道でも無意識に歩くだけでなく、よい歩きかたのフィーリングをつかむようにしましょう。

老化の防止、ランニングの準備運動としてもよくそれらの活用を考えてみましょう。

(A) 歩くスピードをあげよう
駅までふつう十五分で歩いていけるのなら今日は十四分三十秒、明日は十四分とピッチをあげて歩きます。

(B) 歩きかたにバリエーションをとり入れよう
前を歩く人の足もとをみると、

実にさまざまな歩きかたやくせがあるのに気づくでしょう。そして多くの人は歩きかたが下手なようです。同じ調子で歩かず、歩くバリエーションを考えてよい歩きかたのフィーリングをつかむようにしましょう。

○腰を意識的に押し出すように歩く

○内股ぎみに歩く

○角をまがるときはスピードをあげ足をクロスぎみにする

○ときどき腰のひねりを入れて歩く

二、タイミングの勘を養おう
前方の信号を見て、待ち時間のないように渡るため歩くスピード

をコントロールするのも一つの方法です。

第二十二回町民朝野球大会

八月二十二日・九月五日

- 町営球場
- 優勝・春日町 準優勝・旭町四
- 三位・錦町二
- 第三回全幕別町民選抜ソフトボール大会 八月二十二日 町営球場

優勝・春日町 準優勝・中央町
三 三位・駒島

第五回教育委員長杯父母ソフトボール大会 九月十九日

- (幕別地区：町営球場)
- 優勝・新町チーム 準優勝・本町チーム
- (札幌地区：スポーツセンターグラウンド) 優勝・春日チーム 準優勝・若草町チーム

みこしが出来た!

札内剣道少年団



秋晴れの九月十二日、札内神社の祭り行事のひとつに今年初めて剣道少年団員が子供みこしをかつぎ興をそえました。

例年都市化が進む札内地区は帯広のベッタタウンとしての性格が強く、祭りに対する関心ももうすいのでなんとかして子供たちの心に残るものをご考慮されたものです。神社関係の方々、後援会の父母として製作に協力してください。有志のみなさんのおかげで立派なみこしが出来上がりました。

少年団員は小学校三年から中学

生までなので高学年の生徒は低学年の面倒を見ながら二時間余り町内をまわり、地域の方がたからたいへんよろこばれました。指導の先生をはじめ後援会の父母も子どもたちといっしょにハッピを着て参加しました。自分の経験を通して地域の連帯感、郷土愛を感じてつたことと思います。

札内剣道少年団は今年で三年生のよちよち歩きですが、毎週二回(火・金)の錬成、奉仕活動、各種大会への参加に積極的に参加し、一歩一歩成長しています。町民のみなさんのあたたかいご支援もよろしく願っています。

(原稿と写真は札内剣道後援会の方から寄せられたものです)

観楓会特別サービス

幕別温泉では、つぎの期間中宿泊団体(15名以上)1人につき、お銚子1本、またはジュース類1本サービスします。お早めにご予約ください。

期間 10月11日から11月30日まで

幕別温泉ホテル
☎ 015556-2121

アメリカ建国二百 年祭に参加して

九本 栄一(依田)

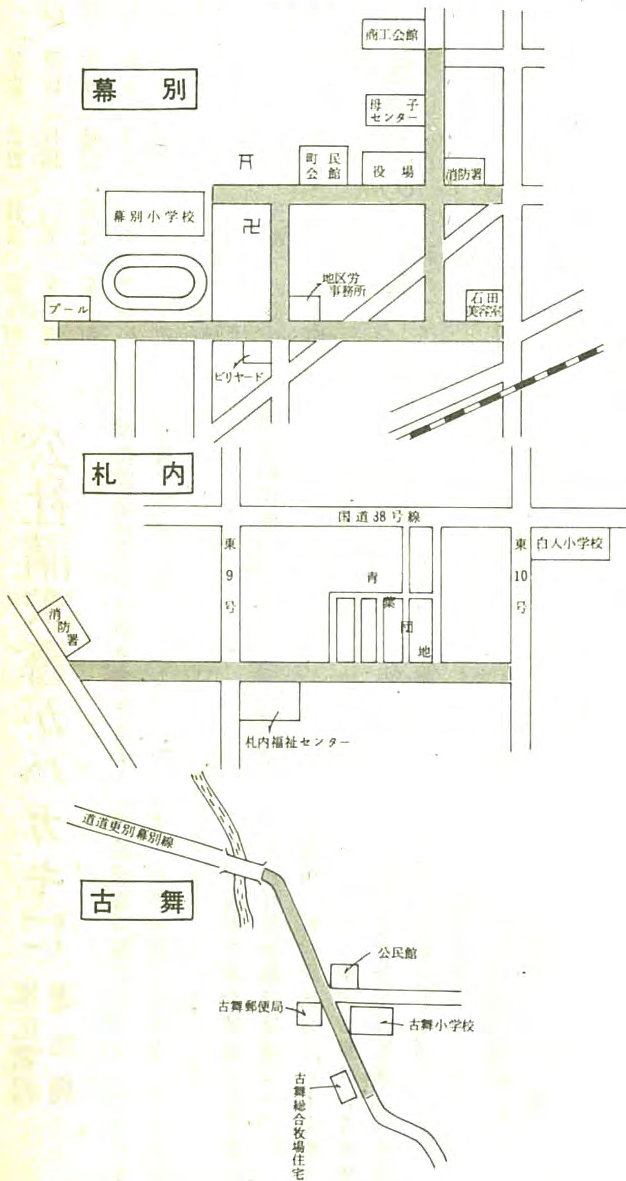
私たち民間芸能人の一行二十六名はアメリカ建国二百周年祭の日本文化ショーに出演のため、堀井小二朗氏を団長に日本を出発したのは八月二十二日でした。二十三日には日系人連合会の要請によりカIMUMキ図書館で老人クラブの方々に民謡と詩吟を披露し非常に感激されました。

日本文化ショーは二十四日午後七時からニール・ブレースデルセンターで開催され私たちの熱演が評判となり翌日からラジオ、テレビなどに引っぱり廻される有様でした。一行は二十八日まで滞在し養老院などの慰問や北海盆唄の講習会などをおこない、州知事から感謝状、日系人連合会からはトロフィを戴き感激を新たにし、民謡こそ国の宝だと深く思い、また機会があれば再び訪れ民族の発想を伝えたい気持ちでいっぱいです。

速度制限のお知らせ

歩行者を交通事故から守るために新たに町内三ヶ所で速度制限を実施します。場所は幕別小学校付近、札内小学校通学道路、古舞小学校付近ですが、くわしくは下の図を

……いずれも30km/hの速度制限です。



ご覧ください。
なお、白人小通学道路は現在工事中ですが、工事が終わりましたら速度制限が実施されます。

クアキニ養老院慰問でのひとコマ



小売価格
の動き

8月 理容料金、小麦粉が上昇。

	幕別町	帯広市	池田町	音更町	豊頃町	管内平均	対前年比
豚肉 (上100g)	円163	円172	円160	円166	円163	円164.4	% 1.6
自主流通米	3,476	3,578	3,600	3,650	3,566	3,530.0	14.9
牛乳 (よつ葉 500cc)	104	104	107	101	110	106.6	14.0
バター (雪印 225g)	296	307	323	298	315	308.2	7.8
チーズ (雪印 225g)	258	264	276	258	275	265.3	▲ 0.2
小麦粉 (薄力1kg)	145	154	146	148	163	154.1	15.2
味噌 (寿桐印1kg)	186	203	185	195	215	190.8	0
しょうゆ (キッコーマン1.8ℓ)	336	338	359	318	368	347.7	0.8
サラダ油 (日清1,650g)	675	697	681	618	730	688.5	▲ 6.3
天ぷら油 (日清1,650g)	586	624	615	533	647	616.3	▲ 5.0
砂糖 (スズラン上白1kg)	270	276	264	267	300	279.4	▲ 5.8
マヨネーズ (キューピー300g)	199	203	219	190	217	204.2	▲ 4.4
クリーニング (白Y)	100	94	120	95	113	104.3	7.0
理髪 (大人)	1,500	1,488	1,633	1,400	1,500	1,459.2	10.8
ちり紙 (白恋1,200枚)	401	405	355	403	480	406.0	8.4
トイレットペーパー (ホクシ-4ロール)	200	189	201	158	233	199.4	▲ 2.0
洗剤 (新ザブ1,660g)	570	569	616	550	613	581.9	-
灯油 (1ℓ)	39	39	37	39	38	39.4	9.1
灯油 (1ℓ)	711	721	676	700	711	712.1	8.1

※対前年比中▲は下がった品目

お誕生おめでとう

佐古明日香 (啓二・長女) 錦町
谷友由香里 (勝・長女) 錦町
伊勢 雅徳 (壽文・長男) 南町
柴山 晴美 (和成・長女) 緑町
折笠 唯史 (政弘・二男) 緑町
大久保 進 (和博・長女) 緑町
大木 祐二 (慶三・二男) 旭町
前川 弥生 (義勝・長女) 明倫
高木 進 (貢・四男) 五位
塩沢 陽子 (俊策・二女) 駒島
小川 美奈 (幸男・長女) 桂町
河原 直美 (直由・長女) 桂町
窪田 尚子 (一男・長女) 桂町

〈敬称略〉

結婚おめでとう

森 公恵 (公雄・長女) 泉町
中山 理智 (利昭・二男) 泉町
金谷 香織 (頼信・長女) 泉町
森若 絢也 (次夫・二男) 共栄町
島勝 智春 (春美・長男) 共栄町
阿部 悦史 (正幸・長男) 共栄町
松田由美子 (恒忠・長女) 千住
日崎 由香 (達則・長女) 青葉町
島勝 健一 (健行・長男) 若草町

〈敬称略〉

公社請求書がハガキに

帯広電報
電話局

電報電話料金の計算事務を電子計算機で処理することになり、公社請求書の様式がハガキ化されます。ハガキ化にともなって公社請

篤志寄付めぐり

一万円 植地長男さん (緑町) から、交通安全のために役立ててくださいと交通安全運動推進委員会へ。
一万円 林敏子さん (南町) から母が生前お世話になりましたと町社会福祉協議会へ。
五万円 三好カヨさん (西町) か

求書が小型になりますので、粉失しないようご注意ください。
料金のお支払い方法などは従来と変わりません。十月分からは、糠内 十一月分からは、幕別・札内

造成基金として。

ら、夫が生前お世話になりましたと町社会福祉協議会へ。
二万円 野村次郎さん (若草町) から、父が生前お世話になりましたと町社会福祉協議会、札内寿会へそれぞれ一万円。
千円 匿名の方から、今月も少しですが町社会福祉協議会へ。
一万円 西田幸雄さん (途別) から、お父さんの全快祝いとして長寿会へ。
一万円 早瀬駒三郎さん (桜町) から、転居にあたり永年の感謝の気持ちからと糠内老友会へ。
一万五千元 湊良三郎さん (緑町) から、転居にあたり糠内老友会へ。
三万円 小林克能さん (春日町) から、母が生前お世話になりましたと札内寿会へ一万円、明治友の会へ二万円を。
おむつ他 幸北婦人部 (代表・辻本栄子さん) から、ねたきり老人の方へ。
おむつ 幕別小学校家庭学級のみなさんから、仮装盆踊り大会賞金の一部で愛育園へ。
三十万円 十勝信用組合 (石田清治理事長) から、開店二十年を記念して開基八十年記念林公園

おみやげもついでに

佐藤不二男さん (錦町) 五十三歳
池本 力さん (緑町) 七十歳
新館千恵子さん (明野) 十二歳
八十嶋忠良さん (新川) 三十五歳
木村久一さん (中央町) 七十九歳
野村茂吉さん (若草町) 六十九歳

ビニール袋によるゴミ収集にご協力ください。